

鳥取県警察本部と連携して悪質住宅修理業者への注意喚起

～特殊詐欺への注意喚起も付記した啓発マスク 3,000 個を作成して、被害防止を訴える～

日本損害保険協会鳥取損保会（会長：増島 一郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 鳥取支店 支店長）は、鳥取県警察本部と連携して、悪質住宅修理業者および特殊詐欺への注意喚起を付記した啓発マスク 3,000 個を作成しました。

3月6日（水）13時30分から、鳥取県警察本部で、鳥取県警察本部生活安全部・笠田 孝二 部長などが出席して、同マスクの寄贈式が開催され、増島会長から笠田部長に同啓発マスクを寄贈しました。

増島会長から、「自然災害時には、悪質な住宅修理業者とのトラブルが多く発生している。トラブルに遭わないよう、十分に注意していただきたい」と発言がありました。

次いで、笠田部長から、「寄贈いただいたマスクを活用し、県民の方々にしっかりと広報していきたい」と発言がありました。

当支部では、行政や関係機関と連携して、引き続き、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。



増島会長（左）から笠田部長（右）へ寄贈



作成したマスク